



# 緊急稲作情報

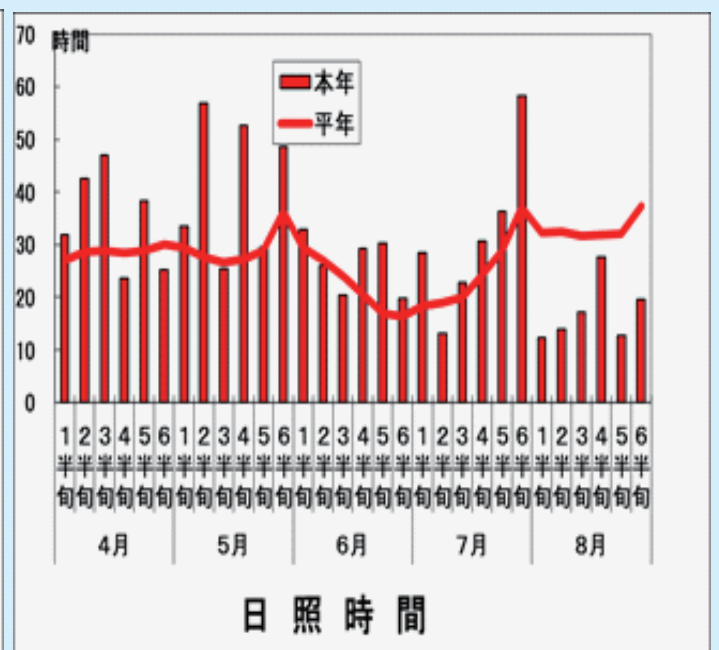
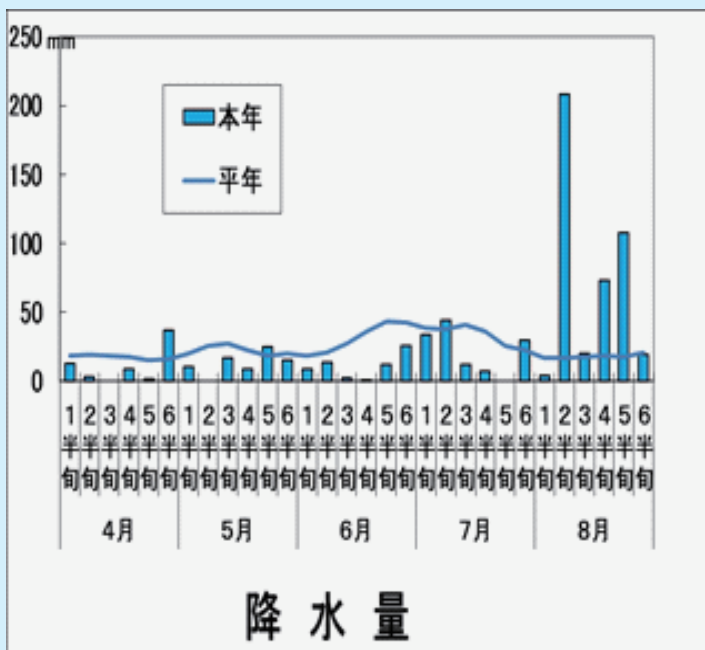


## 日照不足における水稲早生品種の品質対策について

### 1. 気象の概況

8月は日照時間が平年対比52%、降水量が401%と早生品種の登熟は異常な気象状況下で経過しました。天候不順は9月に入ってもあぐれず、早生品種の収穫作業が遅れている状況です。

1ヶ月予報では、この先も日照時間は平年並か少ないと予想されています。



### 2. 今後の対応について

日照不足により、早生品種の成熟期が遅れています。今後、天候が回復しても登熟は進まず、米の光沢も徐々に失われることが予想されます。また、倒伏しているほ場では穂発芽の発生でさらに品質の低下が懸念されます。5月中旬までに移植された「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」などの早生品種はほ場の排水をよくし、できるだけ早く収穫を終えるようにしてください。

なお、跡作に麦の播種等が予定されているほ場では、水稲収穫後は早めに排水溝を設置するなど、排水対策の徹底を図るようお願いします。